

# 9月の園だより

令和 5 年 9 月 1 日  
目黒区立菅刈保育園長

猛暑の中でも、田んぼの稲穂に実がなっているのを見つけたり、「セミの鳴き方前と違うね」と会話していたり等季節の移り変わりを感じている子どもたちです。

先日 0 歳児クラスに入りました。入った瞬間、じーっと私を見つめます。以前は目が合うとにっこりしていたのですが、にこりともしません。「これあったね」「トントントン」等必死で遊んでみましたが、表情は変わりません。そんな時、高くした積み木が偶然倒れてしまい「おっと」と慌てて手で掴もうとしたら、急にケラケラと笑い始めました。その笑顔に私も一緒に笑ってしまいました。それからわざわざ積み木を倒してみても私の顔を見て「おっと」という反応をするかどうか見えています。一度「おっと」という反応をやらないうでいたら“何で”という表情をしていました。相手の反応を期待する（予測する）ことが期待通りにできると“もっとこの人とこうやってみたい”という意欲が育っていきます。相手が反応してくれないと、その感情は生まれてきません。自分は遊ばなくてはとと思っていましたが、そうではなく、同じ場面を共有することが大切だと思いました。また、1 歳児クラスでも同じように入っていくとじーっと見つめられることから始まります。ただ、0 歳児とは違い、持っている絵本を渡してくれたり等関わり始める時間が早いです。人との距離の縮め方も一人ひとり違っていています。今年の夏はコロナが 5 類に移行したことで色々な体験が出来、人との出会いもあったことでしょう。初めての人との出会いの中、どんな姿でどんな表情だったのでしょうか。人との出会いの基盤を作っていくこと、その一瞬、一瞬を大切にしていきます。

今月は夏ならではの水遊び、プール遊びを経験した子どもたちが、自らやってみたいと思う気持ちが育つ中、保育士や友達と楽しく挑戦する姿を大切に、支えあいながら通じ合う喜びを感じられるよう保育を進めていきたいと思ひます。



## 今月の予定

- 防災引き取り訓練
- プールじまい（全クラス）
- 身体計測（幼児）
- 身体計測（乳児）
- 避難訓練

菅刈保育園で育てている  
生き物を紹介します！

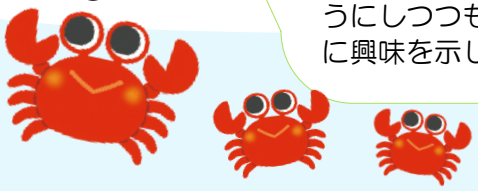
メダカ博士の、  
三船先生です！

### 博士の豆知識

今年はメダカの赤ちゃんがたくさん生まれました。大人のメダカと同じ水槽に入れていると食べられてしまうため、少し大きくなるまで分けて育てています。子どもたちはお母さんと赤ちゃんが一緒にいないことを不思議そうにしつつも日々育てていく様子に興味を示しています。

メダカの赤ちゃん  
初めて見た！

メダカいるよ～



ボトルやじょうろを洗めて、水の泡が立つのを不思議そうに見ています。



こぼさないように慎重に水を移しています。

今月は1、3、5歳児の水遊び、プールの様子をお伝えします。



色水に手を入れると肌の色が変わること気が付きました。



### すみれ組

カップに水をすくうともう一つのカップに水を移し替え、水が流れ落ちたりカップに溜まったりしていく様子を真剣な顔で見てもう一度繰り返しています。色水遊びではボトルに入れて「ジュース」、カップに色水とチェーンを入れて「アイス」と、季節ならではの物に見立てる姿も見られるようになってきました。子どもたちのイメージしていることに共感していきながら、今後はお部屋でのごっこ遊びに繋げていきます。



水の掛け合いっこ  
保育士対子どもチームで  
毎日対決して楽しんでます。



貝拾い  
数を数えたり、色を選んだりしながら  
手を伸ばして拾っています。



ワニ歩き  
段々深くなってもへっちゃらです。

### りす組

初めの頃は顔に水がかかると「やめて」と言っていた姿もありましたが、毎日保育士と水の掛け合いをしているうちに、顔に水がかかっても負けじとかけ続けるほど水と親しんでいます。また、ワニ歩きとラッコ泳ぎ等自分でできることを「みてて」と披露し、全身で水の感触を味わい、十分に楽しみました。



だるま浮き  
身体を丸めてが〜と浮いています。

腕をぴんと伸ばして、  
魚のように泳ぎます。



元気に飛び込んでいきます！



### きりん組

一人ひとりがプールの目標を立ててスタートしました。毎日の子どもたちの成長は著しく、顔をつけることが苦手だった子も、口、鼻、目とだんだん顔をつけられるようになり、顔がつけられると、「潜ってもいいかな」と決意を言葉にすることで挑戦し、あっという間に潜れるようになっていきました。日々の積み重ねや、挑戦する気持ちが子どもたちの自信となり、また一つ心も身体も大きくなったように感じます。